

2019年3月期
第2四半期決算資料



物流から価値を。

三井倉庫グループ

2018年11月8日



- 説明資料内容
 - ▶ 2019年3月期第2四半期 決算内容
 - 2019年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗及び株主還元



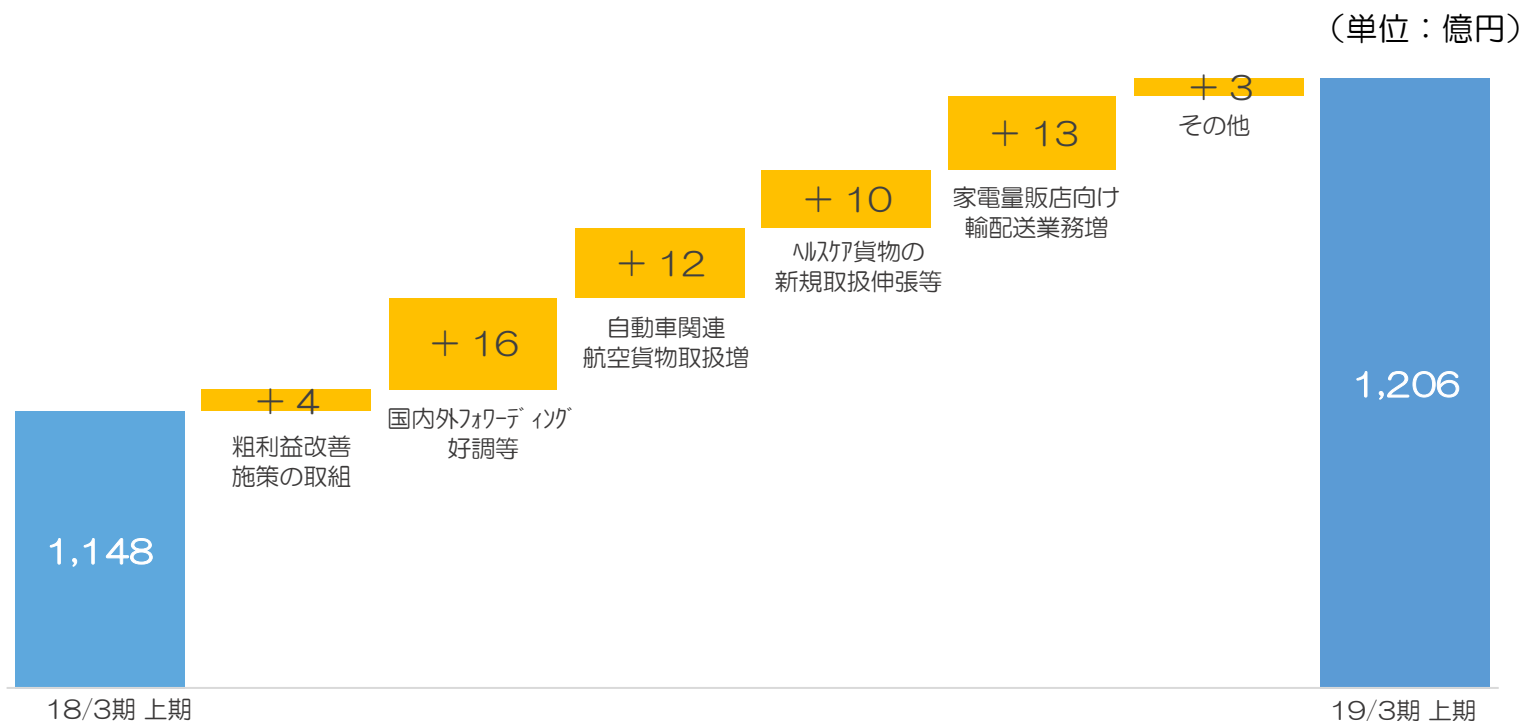
(1) 決算概要

(単位：百万円)

連結合計		18/3期 上期	19/3期 上期	増減額	増減率
P L	営業収入	114,843	120,659	+5,816	+5.1%
	営業利益	3,492	6,183	+2,690	+77.0%
	経常利益	3,657	5,541	+1,883	+51.5%
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,799	3,111	+1,311	+72.9%
C F	営業CF	8,158	8,621	+462	+5.7%
	投資CF	△4,682	△2,400	+2,282	—
	財務CF	△12,892	△10,583	+2,309	—
連結合計		18/3期末	19/3期 上期末	増減額	増減率
B S	自己資本	44,017	47,224	+3,206	+7.3%
	総資産	262,735	258,671	△4,063	△1.5%
	自己資本比率	16.8%	18.3%	+1.5	—



(2) 営業収入（前年同期比）



〔営業収入 事業セグメント別〕

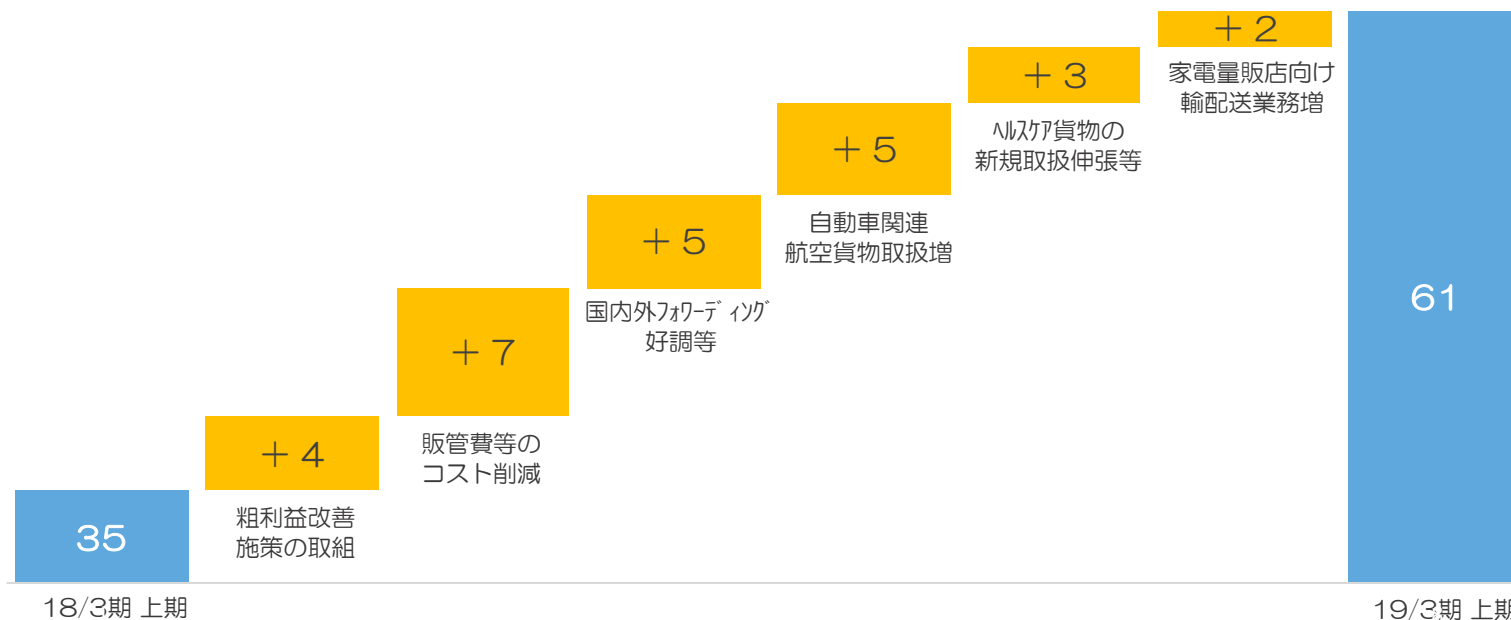
(単位：百万円)

事業セグメント	18/3期 上期	19/3期 上期	増減額	増減率
物流事業	110,664	116,425	+5,760	+5.2%
不動産事業	4,556	4,599	+43	+0.9%
全社・消去	△377	△364	+13	—
営業収入合計	114,843	120,659	+5,816	+5.1%



(3) 営業利益（前年同期比）

(単位：億円)



〔営業利益 事業セグメント別〕

(単位：百万円)

事業セグメント	18/3期 上期	19/3期 上期	増減額	増減率
物流事業	2,875	5,105	+2,229	+77.5%
不動産事業	2,516	2,577	+60	+2.4%
全社・消去	△1,899	△1,499	+399	—
営業利益合計	3,492	6,183	+2,690	+77.0%



(4) 営業外損益・特別損益（前年同期比）

5

(単位：百万円)

連結合計	18/3期 上期	19/3期 上期	増減額	主な増減内容
営業利益	3,492	6,183	+2,690	
営業外損益	165	△642	△807	為替差損益△712百万円（前期:為替差益580百万円、当期:為替差損△132百万円） 金融収支+24百万円、その他△119百万円
（内金融収支	△384	△359	+24	有利子負債圧縮を進め支払利息減少
経常利益	3,657	5,541	+1,883	営業外損益の減少△807百万円、 営業利益の増加+2,690百万円
特別利益	39	6	△32	前期:土地売却益39百万円 当期:有価証券売却益6百万円
特別損失	223	—	△223	前期:固定資産除却損223百万円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,799	3,111	+1,311	経常利益の増加



(5) キャッシュフロー及びバランスシート状況

(単位：百万円)

連結合計	18/3期 上期	19/3期 上期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	8,158	8,621	+462	+5.7%
（減価償却費・のれん償却額）	4,769	4,685	△83	△1.8%
投資キャッシュフロー	△4,682	△2,400	+2,282	—
（設備投資・株式取得）	△5,578	△2,476	+3,101	—
財務キャッシュフロー	△12,892	△10,583	+2,309	—

連結合計	18/3期末	19/3期 上期末	増減額	増減率
現金及び預金	25,798	21,579	△4,218	△16.4%
有利子負債残高	157,604	148,401	△9,202	△5.8%
ネットデット	131,806	126,822	△4,984	△3.8%
自己資本	44,017	47,224	+3,206	+7.3%
総資産	262,735	258,671	△4,063	△1.5%
自己資本比率	16.8%	18.3%	+1.5	—



- 説明資料内容
 - 2019年3月期第2四半期 決算内容
 - ▶ 2019年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗及び株主還元



(1) 決算見通し概要

(単位：百万円)

連結合計		18/3期通期	(19/3期上期)	19/3期通期	前年同期比	当初通期予想
P L	営業収入	233,243	120,659	235,000	+1,756	230,000
	営業利益	6,996	6,183	10,000	+3,003	7,500
	経常利益	6,521	5,541	8,500	+1,978	6,400
	親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,406	3,111	4,900	+493	3,800
C F	営業CF	12,207	8,621	15,000	+2,792	
	投資CF	△5,806	△2,400	△6,500	△693	
	財務CF	△12,180	△10,583	△12,500	△319	
連結合計		18/3期末	(19/3期上期末)	19/3期末	前期末比	
B S	自己資本	44,017	47,224	49,000	+4,982	
	総資産	262,735	258,671	256,000	△6,735	
	自己資本比率	16.8%	18.3%	19.1%	+2.4	



〔営業収入〕

(単位：百万円)

事業セグメント	18/3期通期	(19/3期上期)	19/3期通期	前年同期比	当初予想
物流事業	224,842	116,425	226,400	+1,557	221,400
不動産事業	9,155	4,599	9,200	+44	9,200
全社・消去	△755	△364	△600	+155	△600
営業収入合計	233,243	120,659	235,000	+1,756	230,000

〔営業利益〕

(単位：百万円)

事業セグメント	18/3期通期	(19/3期上期)	19/3期通期	前年同期比	当初予想
物流事業	5,855	5,105	8,200	+2,344	6,000
不動産事業	5,045	2,577	5,000	△45	4,900
全社・消去	△3,904	△1,499	△3,200	+704	△3,400
営業利益合計	6,996	6,183	10,000	+3,003	7,500



(単位：百万円)

連結合計	18/3期通期	(19/3期上期)	19/3期通期	増減額	増減率
営業利益	6,996	6,183	10,000	+3,003	+42.9%
営業外損益	△475	△642	△1,500	△1,024	—
〔内金融収支	△858	△359	△800	+58	—
〕					
経常利益	6,521	5,541	8,500	+1,978	+30.3%
特別利益	1,844	6	6	△1,838	△99.7%
特別損失	223	—	—	—	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,406	3,111	4,900	+493	+11.2%



(4) キャッシュフロー及びバランシート見通し

11

(単位：百万円)

連結合計	18/3期通期	(19/3期上期)	19/3期通期	増減額	増減率
営業キャッシュフロー	12,207	8,621	15,000	+2,792	+22.9%
減価償却費のれん償却額	9,932	4,685	9,700	△232	△2.3%
投資キャッシュフロー	△5,806	△2,400	△6,500	△693	—
財務キャッシュフロー	△12,180	△10,583	△12,500	△319	—

連結合計	18/3期末	(19/3期上期末)	19/3期末	前期末比	増減率
現金及び預金	25,798	21,579	21,000	△4,798	△18.6%
有利子負債残高	157,604	148,401	145,000	△12,604	△8.0%
ネットデット	131,806	126,822	124,000	△7,806	△5.9%
自己資本	44,017	47,224	49,000	+4,982	+11.3%
総資産	262,735	258,671	256,000	△6,735	△2.6%
自己資本比率	16.8%	18.3%	19.1%	+2.4	—



(5) 2019年3月期 最新見通し概要（期初計画値比）

カッコ内の数字は期初計画値との差異

(単位：百万円)

連結合計	上期		下期		通期	
	期初計画値	上期実績	期初計画値	最新見通し	期初計画値	最新見通し
営業収入	114,000	120,659 (+ 6,659)	116,000	114,341 (Δ 1,659)	230,000	235,000 (+ 5,000)
営業利益	3,400	6,183 (+ 2,783)	4,100	3,817 (Δ 283)	7,500	10,000 (+ 2,500)
経常利益	2,800	5,541 (+ 2,741)	3,600	2,959 (Δ 641)	6,400	8,500 (+ 2,100)
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,700	3,124 (+ 1,424)	2,100	1,776 (Δ 324)	3,800	4,900 (+ 1,100)

期初計画値と上期実績・下期見通しの差異

	上期	下期
営業収入	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外フォワーディング業務、自動車関連貨物の航空輸送、家電量販店向け物流業務が期初計画より上振れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家電メーカー関連の国際物流、自動車関連貨物の航空輸送について期初計画比で取扱減少を見込む。
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ・営業収入の上振れに加え、計画以上にコスト削減が進展。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減を引続き実施する一方、営業収入の下振れ見込みに加え、ピークシーズンにおける作業員、備車費用の計画以上のコスト増を見込む。
経常利益	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益の上振れに加え、親会社の子会社に貸し付けているドル建て貸付金について、円安の進行により親会社において為替差益（3億円）が発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・営業利益の下振れ見込みに加え、下期はドル円相場が前期末並みに戻ることで上期に親会社で発生した為替差益の解消を見込む。



- 説明資料内容
 - 2019年3月期第2四半期 決算内容
 - 2019年3月期 決算見通し
 - ▶ 中期経営計画進捗及び株主還元



(1) 「中期経営計画2017」①

◇「中期経営計画2017」～反転から持続的成長～

＜事業運営の基本方針＞

- － 抜本的な事業収益力の強化
- － 財務基盤の再建
- － グループ経営の強化による顧客起点の統合ソリューションサービスの構築

[中計数値目標 (2022年3月期末)]

営業利益	100億円
有利子負債残高	1,300億円
ネットD/Eレシオ	2.0倍以下
ROE	9.0%超

◇ 配当方針

事業収益の着実な積み上げによる、安定配当への早期復帰



◇ 目指す姿

お客様から信頼されるファーストコールカンパニー

当社グループの強みである、強固な信頼で結ばれた様々な業種における
グローバルかつ有力な顧客基盤を深掘り（横展開）する

筋肉質化

「チャレンジ20」

組織改革

グループの連携強化

グループ横断機能の新設

量から質への転換

利益率の重視

挑戦心と活気あふれる職場

意識改革

人事改革



- ✓ 原価高騰の継続等厳しい事業環境が想定される中、「稼ぐ力」の強化を機軸として、2019年3月期は通期営業利益 75億円を計画。

2018年3月期

2019年3月期

コスト削減施策「チャレンジ20」の推進強化

- ・ オフィスを含め各拠点の規模及び配置の見直しを行い、スペース効率を改善
- ・ 出張費、交際費をはじめとした経費の内容管理を徹底
- ・ その他管理コスト全般を聖域なく見直し

案件別収支の見える化徹底

粗利益改善

- ・ 高付加価値サービスへの転換等

グループ経営の強化

- ・ 国内・海外の営業機能等を統合、顧客窓口を一本化
- ・ HDに「戦略営業部」を新設 等

ぎょうざわ

「業際」における新規取引の拡大

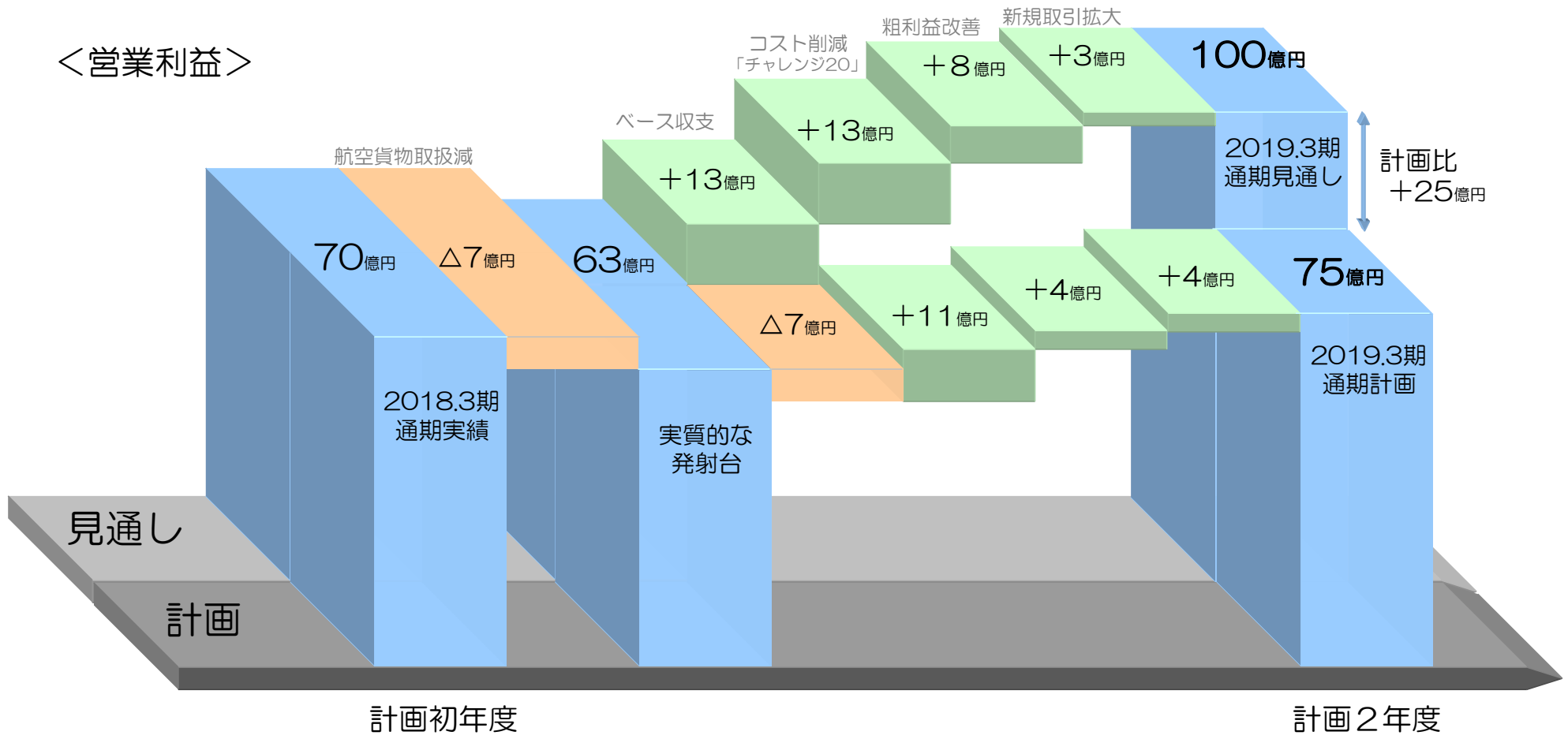
- ✓ 持続的な成長の基礎となる”チャレンジ精神”を促すための人事改革に着手
 - ・ 年功序列的な制度を廃止し、役割、貢献度、業績に応じたメリハリのある処遇を実施
 - ・ モチベーションの向上や能力のある若手の登用を推進



(3) 2019年3月期進捗 ①施策進捗状況

- ✓ コスト削減施策、粗利益改善施策が想定超の水準で営業利益改善に寄与、既存業務深掘・拡大の進展等を受け、「ベース収支」も堅調に推移する見込み。

<営業利益>



➡ 「チャレンジ20」・・・2018年3月期中に実現した効果額（4億円）とあわせ、累計効果額17億円となる見込み。



(4) 2019年3月期進捗 ②全体状況

- ✓ 各指標とも計画を上回る水準で推移、最終年度数値目標達成に向けて着実に前進。
- ✓ 営業利益については数値目標「100億円」達成に一定の目処。
 - 中期経営計画最終年度の営業利益の数値目標については、今後の業績・施策の進捗や、外部環境の動向を見極めて検討。

(金額単位：億円)

		計画初年度 (2018年3月期)	計画2年度 (2019年3月期)	計画最終年度 (2022年3月期)
営業利益	A 計画	65	※1 75	100
	B 実績・見通し	70	100	—
	C 増減 = B - A	+5	+25	—
有利子負債残高	A 計画	1,580	※1 1,490	1,300
	B 実績・見通し	1,576	1,450	—
	C 増減 = B - A	△4	△40	—
ネットD/Eレシオ	A 計画	3.0倍	※1 2.6倍	2.0倍以下
	B 実績・見通し	3.0倍	2.5倍	—
	C 増減 = B - A	△0.0	△0.1	—
ROE ※2	A 計画	9.5%	※1 8.3%	9.0%超
	B 実績・見通し	10.7%	10.5%	—
	C 増減 = B - A	+1.2ポイント	+2.2ポイント	—

※1 2018年5月公表値ベース

※2 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均自己資本



(5) 株主還元（復配）

- ✓ 2019年3月期期末配当として、1株当たり12.50円の配当を実施（予定）

〔背景〕

- 中期経営計画初年度たる前期に引き続き、当期2019年3月期の業績も堅調に推移
- 配当の原資となる三井倉庫ホールディングス(株)の繰越利益剰余金の確保に目処

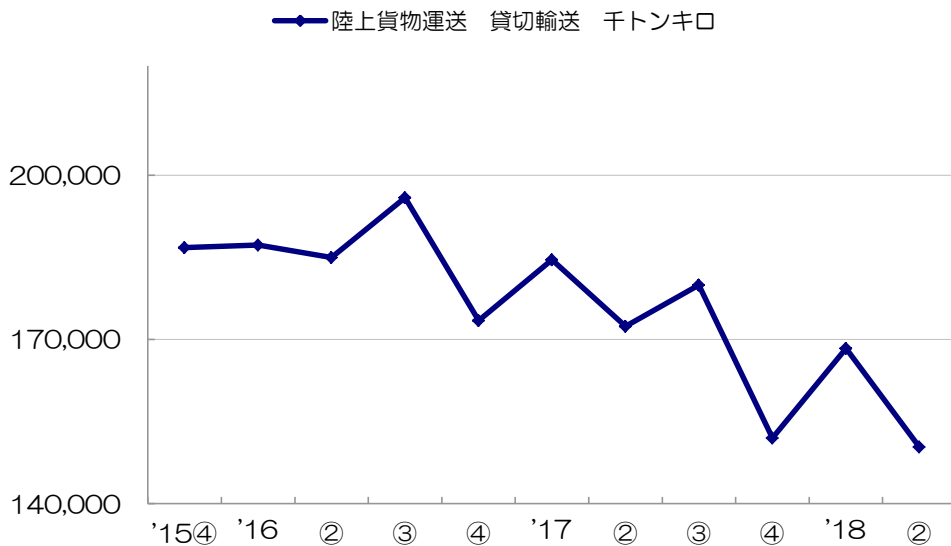
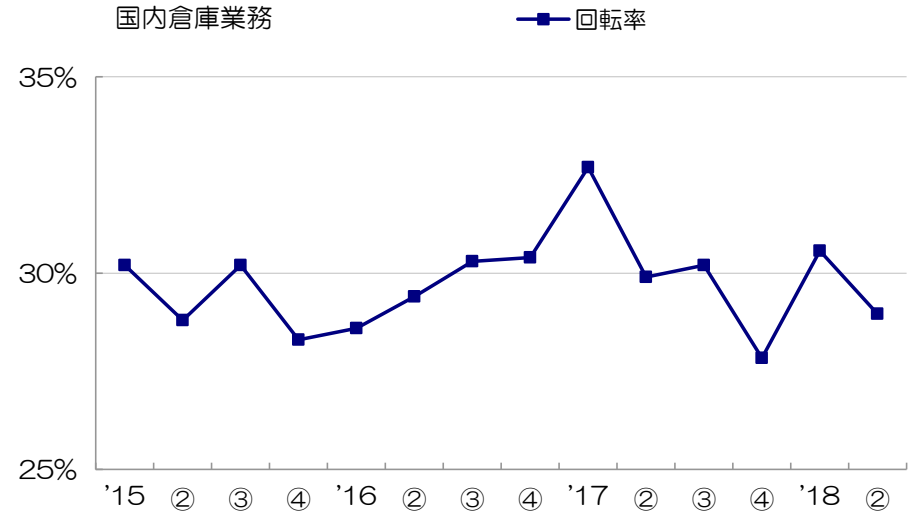
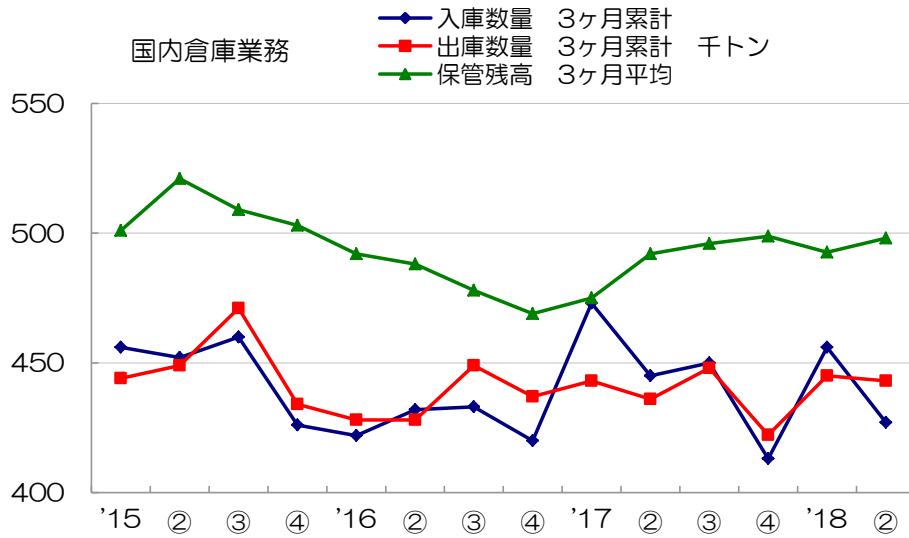
（参考）配当の推移

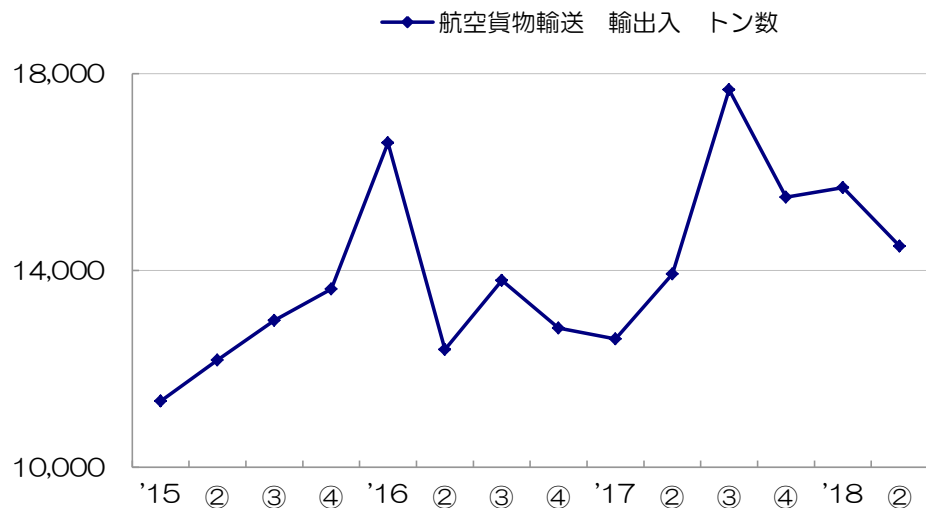
	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期（予定）	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株当たり配当額（円）※	25.00	25.00	25.00	-	-	-	-	12.50

※ 2018年10月1日付の株式併合（5株→1株）を反映



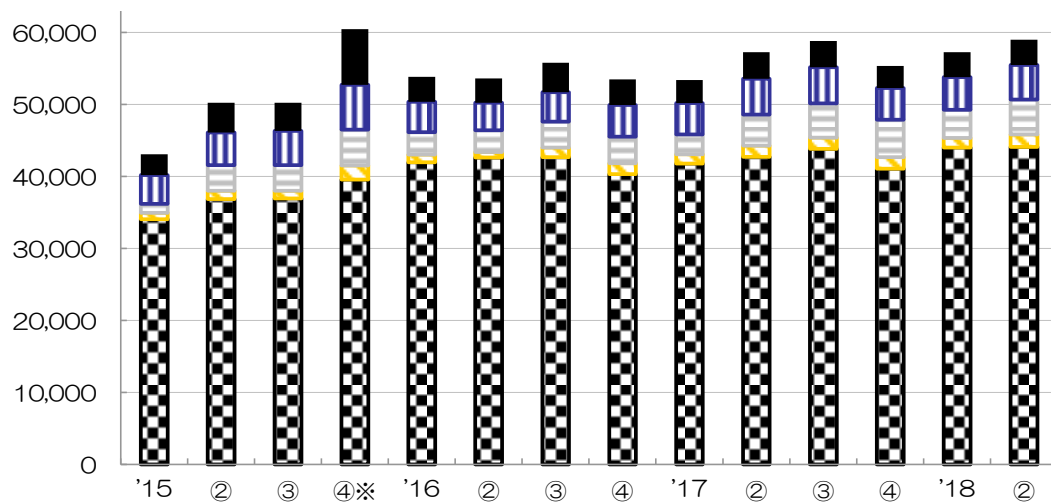
- 説明資料内容
 - 2019年3月期第2四半期 決算内容
 - 2019年3月期 決算見通し
 - 中期経営計画進捗及び株主還元
- ▶ 参考資料





物流事業地域別売上高

■日本 ■米州 ■欧州 ■東南アジア ■北東アジア



※16年3月期第4四半期は一部海外子会社の決算期変更（15ヶ月決算）による影響を含みます。